

矢崎科学技術振興記念財団

研究助成金と
学術賞贈呈式

矢崎科学技術振興記念財団（東京・港区、佐藤慎一理事長）は2023年度の「研究助成金」受領者15人、

「矢崎学術賞」受賞者3人を決定。2月29日に東京・港区の東京プリンスホテルで贈呈式を開催した。同財団の「研究助成」は「材料・デバイス」「環境・バイオサイエンス」「エネルギー・情報通信」の分野が対象領域で、「一般研究」「奨励研究」「特定研究」の3つ。他に国際的な学会での研究発表や共同研究をする際の渡航費を支援する「国際交流援助」、過去に同財団から研究助成を受けた研究者の中から優れた業

績をあげた研究者を表彰する「矢崎学術賞」がある。一般研究助成（200万円）は応募60件から遠藤求・奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科教授ら5件、奨励研究助成（100万円）は応募36件から孫鶴鳴・横浜国立大学大学院工学研究院准教授ら10件、特定研究助成（1000万円）は該当なしだった。

国際交流援助は応募12件から大字亜沙美・理化学研究所生命機能科学センター研究員ら10件、矢崎学術賞は応募7件から功績賞に長汐晃輔・東京大学工学系研究科教授、奨励賞に鈴木大地・産業技術総合研究所シンクシステム研究センター主任研究員と星本陽一・大阪大学大学院工学研究科准教授が選ばれた。同財団は1982年に矢崎総業設立40周年を記念して、科学技術にかかる研究開発と助成と振興を図り、公益の増進と活力ある社会の実現に資することを目的に設立された。